

「毎日を大切に」 ～令和6年度の始まりにあたって～

4月9日（火）に岐阜県総合医療センター重症心身障害児施設「すこやか」、国立病院機構「長良医療センター」での入学式、10日（水）には学校にて入学式及び令和6年度前期の始業式が行われました。小学部2名、中学部7名、高等部5名の新生、小学部2名の転入生を迎え、全校児童生徒43名の令和6年度の教育活動が始まりました。

今年の夏は、パリオリンピック・パラリンピック夏季大会があります。国内外のアスリートの全力で競技に励む挑む姿に心奪われることになるでしょう。また、岐阜県の各地では全国高等学校総合文化祭が開催されます。高校生のエネルギーに満ちた芸術文化の祭典には心躍る場面にも出会えるでしょう。特別支援学校からは音楽発表をはじめ、当校も作業製品の販売などで参加します。多くの人と人々が心通わす素敵な夏になることを期待しています。

こうした大きなイベントだけではなく、日常生活においても心が動くときに、私たちはワクワク・ドキドキと期待したり、緊張したり、人として生きている実感を得る毎日を過ごしているように思われます。

長良特別支援学校では、心に伝わる、心に響く、心を動かす授業や行事などの教育活動を実践していきます。その毎日が、児童生徒を含め全ての人の成長の礎となります。そしてさらには、かけがえのない命を守り、命をつないでいくことにもなります。

保護者の方をはじめ地域の皆さまにおかれましては、これまでと同様に当校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年4月11日  
校長 広井 隆司